

JPEC World Report

米州 2026 年 7 月版

概 況

◆米国・イラン両国が軍事行動を即時終結する 14 項目の覚書で合意した 6 月 18 日、トランプ大統領はイラン指導部の判断を評価し、自ら署名した合意内容に自信を示したが、6 月下旬以降に双方は再び攻撃を激化した。

◆WTI 原油先物価格は、6 月最終週は 1 バレル当たり 69 ドルから同 78 ドルの間で推移した。ホルムズ海峡通過タンカーの増加を背景に WTI は 24 日 69 ドルに下落し、約 4 カ月ぶりの安値を記録した。しかしながら、ホルムズ海峡情勢に関しては 25 日イランが通過貨物船を攻撃したとの報道が流れ反騰したが、正常化すると観測が価格を押し下げた。

◆7 月に入ると、米エネルギー情報局（EIA）が「原油市場は供給過剰に戻り、価格引き下げ圧力が形成される」との予測を発表したが、米国がイラン攻撃を再開、情勢は再び不透明化した。WTI 先物は 7 月第 2 週以後、1 バレル 72 ドルから 82 ドルの間で推移、原油供給が減少するとの観測から、原油価格は約 1 カ月減に高値に転じた。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申し込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >